

委員会調査(研修)報告書

NO.

平成 30 年 2 月 15 日

胎内市議会議長

森 田 幸 衛 様

(報告者) 産業観光常任委員会

委員長 小野徳重

産業観光常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第 110 条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 平成 30 年 1 月 31 日 至 平成 30 年 1 月 31 日 泊 日 (1 日間)	調査・研修 場 所	・胎内スキー場 ・胎内アウレツ館 ・ロイヤル胎内パークホテル
調 査 ・ 研 修 事 項	・観光施設の運営状況について		
調 査 ・ 研 修 出席者(参加者)	小野徳重、渡辺宏行、高橋政実、渡辺俊、榎本丈雄 渡辺栄六、佐藤陽志、羽田野孝子、八幡元弘、笹係長		
相手方(対応者)	(株)胎内リゾート代表取締役 小野昭治 胎内スキー場支配人 坂上誠 ロイヤル胎内パークホテル総支配人 高橋幸直 商工観光課 高橋課長、農林水産課 榎本課長、農林水産課 笹係長		

調査の結果または概要

<胎内スキー場>

新たにスノーエスカレーターを設置し、また昨年から雪マジ19（19歳を対象にリフトを無料で利用可能）を取り入れたり、圧雪車を更新したりと設備の充実や新しい企画を行い、集客増加を図っていた。

今年度の利用客数は、1月31日時点で16,148人であり前年（16,756人）と同等である。

<胎内アウレッツ館>

胎内パークホテルとニュー胎内パークホテルをそれぞれA棟、B棟として、主に学生対象の合宿施設として活用している。A棟は35室、定員147人、B棟は28室、定員98人であり、営業期間は4月1日から10月31日となっている。

今年度の利用客数は、1月31日時点で7,138人であり前年（7,277人）と同等である。

<ロイヤル胎内パークホテル>

胎内リゾートの中心的施設であり、宿泊施設、宴会場、温泉など様々な用途で利用でき、利用者のニーズに対応可能なキャパシティを備えている。宿泊ルームは43室（特別室4室含む）あり最大収容客数約150人、宴会場はテーブル・椅子使用の場合で約300人、立食の場合で約400人利用可能である。

今年度の利用客数は、1月31日時点で宿泊客数は10,381人（前年9,690人）、日帰り利用客数は53,815人（前年61,907人）であり概ね前年と同等である。

調査の所見・感想

<胎内スキー場>

天候や降雪量の影響を受ける施設であるが、アクセスの良さやコースがバラエティの富んでいる利点を活かし、継続的に新たな企画やアイデアを試みることで利用者の増加を期待する。リフトやトイレなど設備の更新を順次行っていく必要を感じた。

<胎内アウレッツ館>

胎内パークホテルとニュー胎内パークホテルを再利用し、学生の合宿に利用している。合宿に使用していない期間の利用方法や合宿以外の利用方法に関して、一考の余地はあると思われる。施設は、宿泊の部屋は清潔であるが、渡り廊下には雨漏りの箇所が見受けられるため、メンテナンスの必要を感じた。

<ロイヤル胎内パークホテル>

胎内リゾートの中核であり、ロケーションにも恵まれている。今回、特別室を視察し、非常に趣向を凝らした空間であり、ゆったりと贅沢な時間を過ごすには最適の部屋、間取りであると感じた。既存の施設や設備を最大限活用し、スキー場やアウレッツ館また近隣の施設、環境を取り入れながら一体となって、胎内リゾート及び胎内市の観光と地域の活性化の中心の1つとして期待される。